

令和3年度 生涯学習に関する意識調査 調査結果

1. 調査の目的

静岡市民の生涯学習活動の実態を調査するとともに、その中で生涯学習センターがどのような役割を果たしているかを把握する。また、生涯学習活動についての市民からの意見・要望を集める。

2. 調査の対象

生涯学習センターの利用者であるかを問わず調査対象とするため、葵区・駿河区の自治会、町内会、教育施設などを通じ広くアンケートを配布した。

3. 調査実施期間

令和3年10月～令和3年12月

4. 回収状況

573部を配布し、455部の回答を得た（回収率79.4%）。

5. 設問について

本調査ではあえて「生涯学習活動」という言葉を使わず、「趣味の活動」（質問1）、「資格取得・職業能力の向上」（質問3）、「立場の近い人との情報交換」（質問4）、という生涯学習に関する具体的な3つの要素について問いを設けることで、より実態に近い回答を得ようと試みている。

令和3年度の調査では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け社会の状況が大きく変化している中、市民の生涯学習活動に関する意識やニーズを把握するため、令和2年度の設問を基本とし、自由記述の質問10に「新型コロナウイルス感染症発生の前と後で趣味の活動への変化」を追加した。

6. 結果の分析

はじめに回答者の属性について見ると、性別は男女概ね半分ずつと偏りがなく（質問8）、年齢層は70歳台を最頻値として10歳台から80歳以上までと幅広い年齢層からアンケートを回収できている（質問9）。

5で述べた生涯学習活動の3つの要素について、すべて「行っていない」と答えた回答者の割合は31%であり、回答者のうち69%が何らかの生涯学習活動を行っているという結果となった（分析1）。生涯学習センターの知名度は75%と比較的高かったが（質問6）、生涯学習センターを利用している割合は、約5人に1人であった（分析2、分析3）。

趣味の活動ができる場について情報収集する手段として、インターネットと回答した割合が24%と最も高く（質問2）、HPやSNSを積極的に活用した情報発信が求められる。一方で、情報収集していないという回答が57%を占めており、無関心層への効果的なアプ

ローチについても検討が必要である。

イベント参加（質問5）に関する設問では、行っていないという回答が72%と高く、コロナの影響でイベント自体が中止となったなど、令和2年度調査に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた回答があった。コロナ禍により直接対面が減少している一方、オンライン研修、Zoom研修、リモート（質問3、4、7）といったデジタル対面を利用しているとの回答も多く見られた。

令和2年度調査との比較では、趣味の活動場所で、生涯学習センター利用と回答した人の割合が6ポイント減少、自宅または知人宅と回答した人の割合が3ポイント増加した（質問1）。趣味の活動ができる場についての情報収集で、生涯学習センターと回答した人の割合が5ポイント減少、情報収集していないとの回答が2ポイント増加した（質問2）。また、資格取得や職業能力向上のための学習場所として、生涯学習センター（サークル活動、センター主催の講座）及びその他の公共施設で開催される講座と回答した人の割合が6ポイント減少した（質問3）。さらに、情報交換をする機会があると回答した人の割合は8ポイント減少した（質問4）。地域で行われるお祭りなどのイベントに行っていないと回答した人は18ポイント増加した（質問5）。令和2年度調査時より、不特定多数との接触を避ける結果となった。

オンラインでの学習について、すでに利用している又は利用したいと考えている人の割合が54%であり（質問7）、前述のとおり、趣味の活動ができる場について情報収集する手段としてインターネットと回答した割合が高いことや、デジタル対面を利用しているとの回答も多く見られることから、使用方法等の周知が急務であると考えます。

質問10の自由記述欄では、Zoomでの受講で子どもがいても受講できた、平日だと参加できない、予約がしづらい、参加しやすいイベントがわからない、どのような講座があるか知りたい、といった講座に関する意見、要望のほか、生涯学習センターの知名度が低い、といった回答もあった。講座日程及び内容、広報について、市民のニーズに沿えるよう再検討する必要があるといえる。また、コロナ発生後は趣味の活動を一時中止している、外出を最低限にしていたので活動はない、うちでできる趣味に切り替えた、といった回答や、2年の間に体力、気力が落ちた、活動が半減しロコモやフレイルが気になる、といった健康に関する回答も得ており、長引くコロナ禍の影響が窺える。

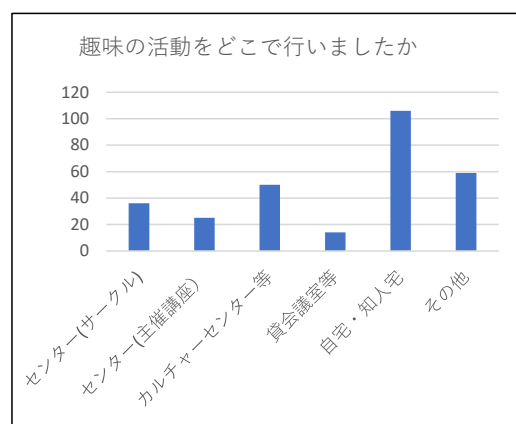
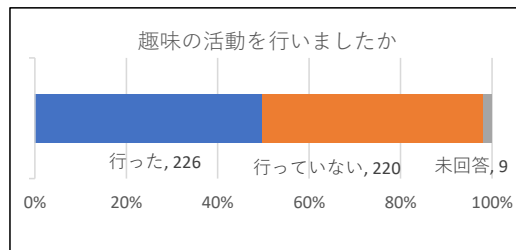
今年度の調査を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、現状の中で出来ることを模索し、趣味の活動に対する意識や内容に変化が起きていることが窺えた。社会の変化に応じた生涯学習活動への興味関心に繋がる事業を検討するとともに、対面での活動が制限される中、より安心して利用できる生涯学習センターを目指したい。

令和3年度 生涯学習に関する意識調査 集計結果

回収件数	455
------	-----

質問1 この1年くらいの間に、趣味の活動を行いましたか。行った場合は、どこで活動したかお答えください。（複数回答可）

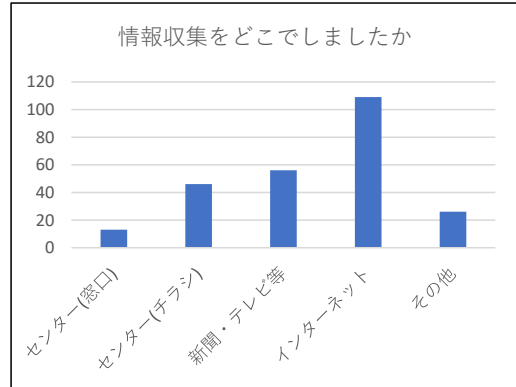
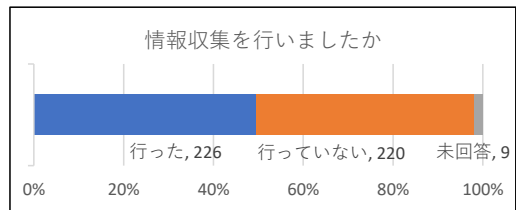
1	生涯学習センター (サークル活動)	36	8%
2	生涯学習センター (センター主催の講座に参加)	25	5%
3	民間のカルチャーセンター、お教室など	50	11%
4	貸会議室、貸スタジオなど	14	3%
5	自宅または知人宅	106	23%
6	その他	59	13%
	1~6いずれかに回答した	226	50%
7	行っていない	220	48%
	未回答	9	2%



その他の記載内容
 体育館(6件)、公民館(4件)、屋外(3件)、ゴルフ(3件)、小学校体育館(2件)、東部体育館(2件)、山(2件)、海(2件)、テニス(2件)、プール(2件)、スポーツ観戦(2件)、ツーリング(2件)、市内、野外、湖、川、安倍川、浅間神社、駿河総社、駿府城、久能山東照宮、ボーリング場、球場、球技場、施設利用体育館、学校体育館、道場、グラウンド、河川敷グラウンド、IAIスタジアム、グランシップ、浜松美術館、図書館、学校、葵生涯学習センター、美和自治会集会所、健康交流会ほほえみ、リビングカルチャーセンター、カーブス、温泉施設、キャンプ場、貸農園、井川自然の家、先生の自宅、体験教室、書道教室、野菜づくり、花づくり、キャンプ、ファミリーキャンプ、サーフィン、スポーツ関係、グランドゴルフ大会、草刈り、コロナ禍の前

質問2 この1年くらいの間に、趣味の活動ができる場について情報収集をしましたか（複数回答可）

1	生涯学習センター窓口で相談	13	3%
2	生涯学習センターでチラシを探す	46	10%
3	新聞・テレビ等のマスメディアで	56	12%
4	インターネットで	109	24%
5	その他	26	6%
	1~5いずれかに回答した	186	41%
6	していない	260	57%
	未回答	9	2%

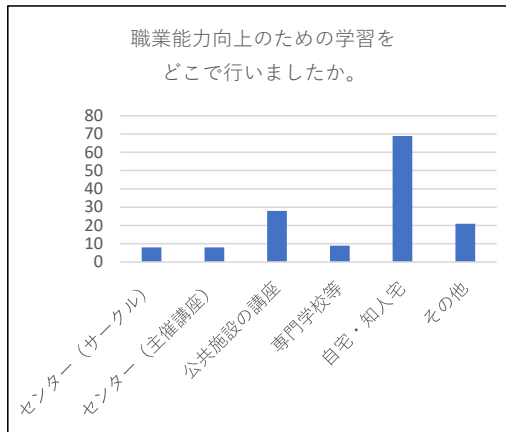
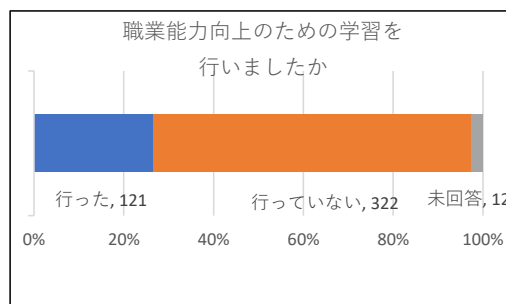


その他の記載内容
 友人(4件)、知人(4件)、広報しずおか(3件)、広報(3件)、口コミ(2件)、回覧板、チラシ、LINE、SNS等、予約等の活動、ボランティアサークル内、同好人、TEL連絡、図書館、体育館、家庭菜園、

質問3 この1年くらいの間に、資格取得や、職業能力向上のための学習を行いましたか。行った場合は、どこで活動したかお答えください。（複数回答可）

1	生涯学習センター（サークル活動）	8	2%
2	生涯学習センター （センター主催の講座に参加）	8	2%
3	その他の公共施設で開催される講座	28	6%
4	専門学校等	9	2%
5	自宅または知人宅	69	15%
6	その他	21	5%
	1～6いずれかに回答した	121	27%
7	行っていない	322	71%
	未回答	12	3%

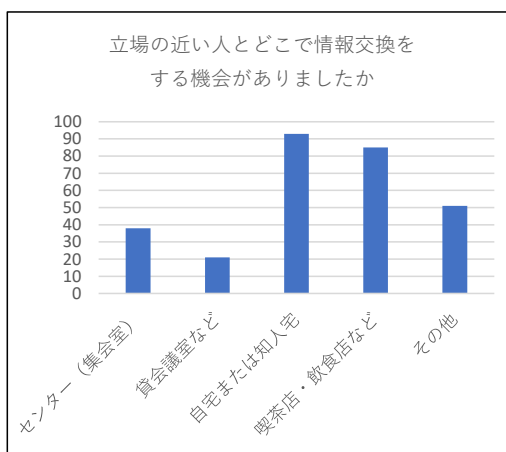
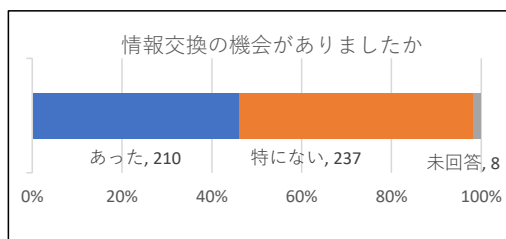
その他の記載内容
インターネット（2件）、オンライン研修（2件）、ZOOM研修（2件）、前年度までは大学に通った、公民館、体育館、きてこ、みなくる、専門職教育機関、民間のカルチャーセンター、コマツ自動車学校、野外、オンラインセミナー、YouTube、組合、免許更新、わな猟免許、技能講習、職業能力向上、



質問4 この1年くらいの間に、立場の近い人（同業者やママ友など）と集まり、情報交換をする機会がありましたか。あった場合は、どのような場だったかお答えください。（複数回答可）

1	生涯学習センター（集会室利用）	38	8%
2	貸会議室など	21	5%
3	自宅または知人宅	93	20%
4	喫茶店・飲食店など	85	19%
5	その他	51	11%
	1～5いずれかに回答した	210	46%
6	特にない	237	52%
	未回答	8	2%

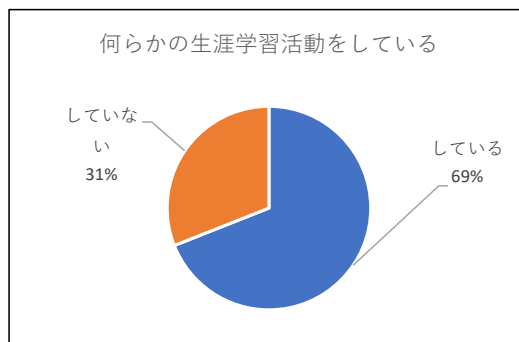
その他の記載内容
学校（8件）、公民館（6件）、職場（3件）、リモート（3件）、オンライン（2件）、ZOOM（2件）、習い事（2件）、2町内、町内、沢川、丸子2丁目、小学校集会室、竜南小地域集会室、集会所、体育館、教育センター、団体事務所、会議等、自治会関係会議、教育センター主催の研修、研修会、スポーツジム、スポーツの場、大会会場、ボランティアサークル内、仕事仲間、仕事関係以外には、近所の友人仲間、S型サービス（おしゃべり会）、ふれあいサロン、LINE、メール、おけいこ、着付け、茶道、行事



分析1 何らかの生涯学習活動をしている

1	している	314	69%
2	していない	141	31%

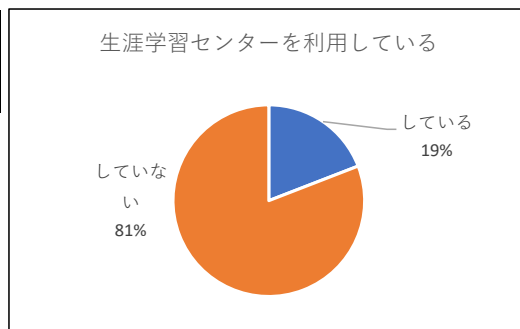
※質問1（趣味の活動）、3（職業能力向上）、4（情報交換）において「行っていない」「特になし」を除くいずれかの項目に回答した人を「生涯学習活動をしている」として集計した。



分析2 生涯学習センターを利用している

1	している	87	19%
2	していない	368	81%

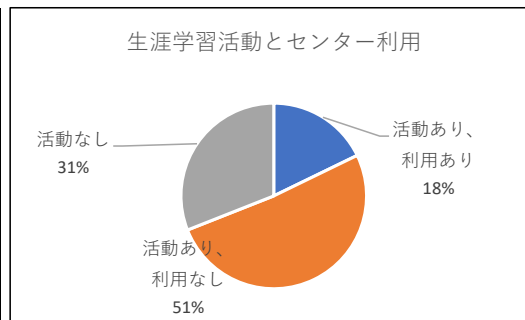
※質問1～4（分析1に加え、情報収集）において「生涯学習センター」を含む項目を1つでも回答した人を、「利用している」とした。



分析3 生涯学習活動とセンター利用の関係

1	生涯学習活動をしていて、センターを利用している。	81	18%
2	生涯学習活動をしているが、センターは利用していない。	233	51%
3	生涯学習活動をしていない。	141	31%

※生涯学習活動に、質問2（情報収集）は含んでいない。

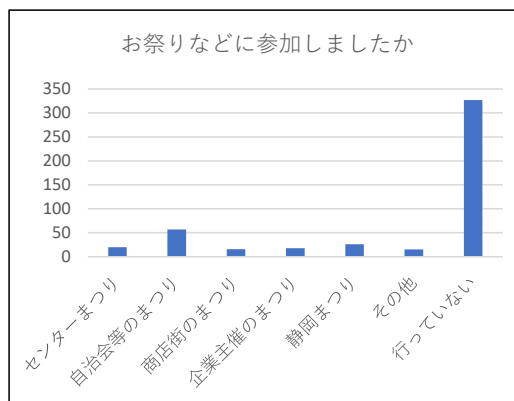


質問5 この1年くらいの間に、地域で行われるお祭りなどのイベントに参加または観覧しましたか。参加または観覧した場合はどのような場であったかお答えください。（複数回答可）

1	生涯学習センターまつり	20	4%
2	自治会・町内会のまつり	57	13%
3	商店街が開催するまつり・夜店市など	16	4%
4	企業の主催する祭りやイベント	18	4%
5	静岡まつり	26	6%
6	その他	15	3%
7	行っていない	327	72%

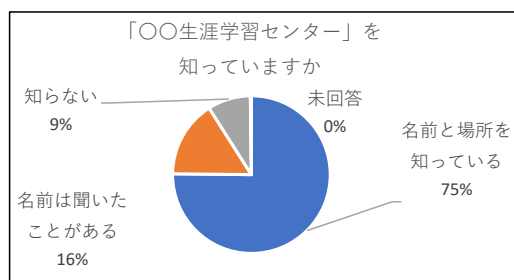
その他の記載内容

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止の為やっていない（6件）、団体主催のイベント、ハイキング、防災訓練、駿府城堀の葵船、サッカー観戦、バスケット観戦、ストレンジシード、手作り市、グランシップ、浅間神社廿日祭、仕事での参加のみ、マスクつけた踊りだけど楽しかった、吹奏楽発表会



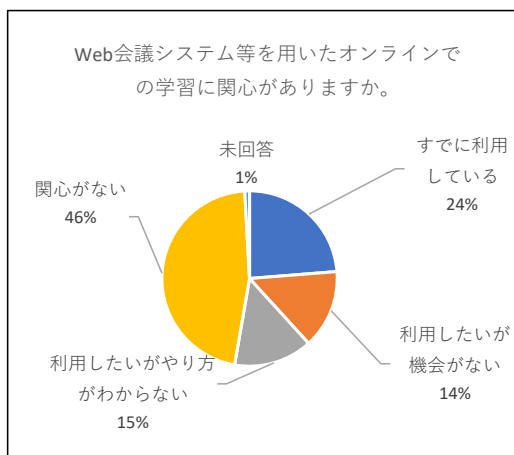
質問6 お近くにある「〇〇生涯学習センター」を知っていますか。

1	名前と場所を知っている	342	75%
2	名前は聞いたことがある	72	16%
3	知らない	40	9%
4	未回答	1	0%



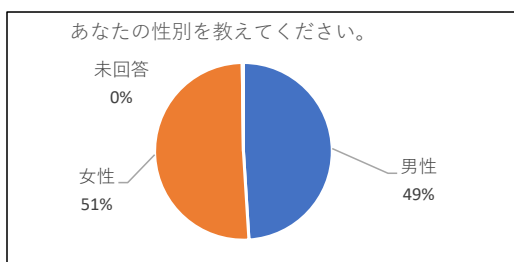
質問7 Web会議システム等を用いたオンラインでの学習に関心がありますか。

1	すでに利用している	108	24%
2	利用したいが機会がない	66	15%
3	利用したいがやり方がわからない	66	15%
4	関心がない	211	46%
5	未回答	4	1%



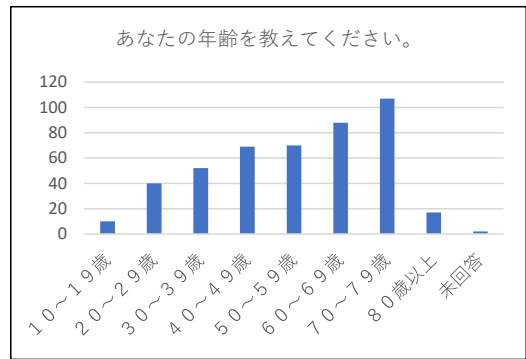
質問8 あなたの性別を教えてください。

1	男性	223	49%
2	女性	231	51%
3	未回答	1	0%



質問9 あなたの年齢を教えてください。

1	10～19歳	10	2%
2	20～29歳	40	9%
3	30～39歳	52	11%
4	40～49歳	69	15%
5	50～59歳	70	15%
6	60～69歳	88	19%
7	70～79歳	107	24%
8	80歳以上	17	4%
9	未回答	2	0%



質問10 その他、ご意見ご要望がありましたらご記入ください。また、新型コロナウイルス感染症発生の前と後で趣味の活動への変化などがありましたらご記入ください。(自由記述)

【ご意見ご要望】

- ・ ZOOM や Meet を使って、工作教室の実験など子どもと一緒に楽しめるイベントがあるといいです。
- ・ いろいろな方が自由に集まり、会話や情報交換ができるような場があるといいと思います。
- ・ 会議室を借りる条件がきびしい
- ・ カラオケ教室に入りたいと思っております。
- ・ 気軽に参加できるイベントがあったら参加したいです。手続きが簡単なら行きやすいと思います。
- ・ 毛筆とか硬筆、教養が身につく講座を開いてもらいたい。平日だと行けない。
- ・ 現在仕事で趣味に時間が割けないが、広報や回覧板で生涯学習センター等のカルチャー講座を見て、いずれ覗いてみたいと思います。
- ・ 広報などでどんな内容が見ることもあるが、予約がしづらかったり、仕事をしていると時間が合わず利用できないこともある。
- ・ 子育てが一段落し、やっと自分の時間を使えるとなった時のコロナで、なかなか新しいことにチャレンジできなくなっています。生涯学習センターで皆が参加できるイベントや講座等の情報を出してくださるとうれしいです。
- ・ 今後も学校の教育活動へのご協力をお願いします。
- ・ 生涯学習センターでの講座、楽しんでおります
- ・ 生涯学習センターで私たち年代が参加しやすいイベントがわからない
- ・ 生涯学習センターの知名度が薄いと思う。利用者は趣味で利用している人は喜ばれるが、年齢が高くなると利用しにくい所があるように思われるのではないか。
- ・ 生涯学習に費やす程生活資金に余裕がない。習うには身形も必要になる。固定資産税、国民健康保険料で年金支給額の20%程が必要になる。必要なことだから仕方がないが。
- ・ 情報収集をして、生涯学習等参加してみたいが現在仕事、自分の趣味、母親業、祖母業に追われて時間の余裕のないのが現状です。
- ・ どのような講座があるか知りたい
- ・ 初めての人が参加しやすいイベントがあるといいなと思います(親1人が興味をもっても、なかなか1人では参加しづらい)
- ・ 藤枝市在住なので、藤枝市の生涯学習センターの催しに参加しています。
- ・ 若者でも気軽に参加できそうなイベントがあれば
- ・ 私の住まいの近くの生涯学習センターでは魅力ある講座が何もないし(他センターではいろいろ活発にやっているのに)なぜこんなにセンター毎に落差があるのか?税金を使って仕事しているなら、もっと市民が欲しているものを積極的に発信してほしい。他

センターがうらやましい(遠出はできないから近隣のセンターを利用したいと思っているのに) もっとやる気を求む!

【新型コロナウイルス感染症発生の前と後で趣味の活動への変化】

- ・ 1人で行える趣味が増えた
- ・ 2年の間に体力、気力が落ちた
- ・ ZOOM で講座を受けました。自宅で受けられるので、子どもがいても受講できました。育休中には、子どもを見てくれる講座を探して受講しました。
- ・ 合気道をやっていますが、人との距離が近いので、コロナウイルス発生以降行けていません。
- ・ 以前は歌声喫茶を利用して楽しい時間を持っていたが、まだ再開(参加)していない(営業はしているが)
- ・ いま考えている
- ・ 運動活動ができなくなった
- ・ おうちでできる趣味に切り替えた。
- ・ お祭りの参加がないので自宅にいたることが増え、活動の中心も変わった。
- ・ 音楽(BAND)活動をしています。コロナで何もできなかった期間はつまらなかったけど、これを機会に色々な面で活動の見直しや仲間同士のルールなどが出来て良かった面も少なくないです。
- ・ オンラインの活用の重要性、利便性を痛感した。またその危険性も(匿名性の強さから)含め。
- ・ 外出の機会が大幅に減少した
- ・ 活動範囲が非常にせばめられている。
- ・ 感染症対策として趣味等活動はしていない
- ・ 感染予防のため人との接触を避けるため、活動を自粛している。
- ・ 教室に通っていましたが、生徒さんが大分少なくなってしまいました。
- ・ 緊急事態宣言が出ている間は活動しなかった(バスで行くため感染がこわい)
- ・ この一年間は新型コロナの影響で、お祭り、イベント、趣味の集いが中止になり参加できなかった。
- ・ コロナウイルス感染症の影響で活動が減りました。
- ・ コロナウイルス感染症の影響で活動が減りました。発生後は趣味の活動を一時中止している
- ・ コロナ禍で活動が半減。ロコモやフレイルが気になります。
- ・ コロナ禍にて参加に制約されて参加できず、今後コロナ収束のおりに参加したい
- ・ コロナ禍前に比べると、活動への参加者が減少し、思うような活動が行えない。

- ・コロナ感染症再拡大を懸念し、活動を自粛しがちになる。
- ・コロナ前後で変化はありませんが、生涯学習センターの興味深いイベント（講座）は平日が中心なので、現状ではなかなか参加できず残念です。
- ・コロナ中に生涯学習センターで開催したフェスティバルに参加したが、感染予防の為、人との接触がしなくなかったため、話しかけられたが会話をしたくなかったのでした。
- ・コロナの影響で活動の機会は減少した。（人と会うのを制限しているため）
- ・コロナ発生後歌う会が閉ざされてしまい残念です。今までいろいろと動いてきたが、ここで今後の人生を考えたいと思います。
- ・コロナ発生後は人の集まる所には行ってないし、やってないし、行きたいとも思わなかった。コロナ前には講座等を利用していたので、収まったらまた利用したい。
- ・コロナ発生後は友人とも会うのを控えたり、外出も最低限にしていたので活動は無いです。
- ・コロナ前と後で特に変化なし
- ・自粛していた
- ・市内、県外に思うように行けない（写真）
- ・週2回活動していたのが休会になり、少しおさまって活動できるようになっても週1回になったりで、活動できる時間が本当に少なくなった。感染症対策をとりながら、早く元の生活が出来るようになりたい。
- ・集会し話などを聞いていましたができなくなりました。
- ・集会には全くといってよいほど参加しなくなりました。野菜作りを趣味としていますが、情報や育て方等はユーチューブを視聴するようになりました。動画を見れば色々な情報が得られることが便利だと思うようになりました。
- ・集会もなく趣味の活動も減り、発表会も減りました。少しずつ活動できるようになりました。
- ・趣味が手芸の為、特に前と変わらず創作活動をしています。コロナ禍になってから講演会、イベントへの参加はやめて、なるべく人と会う機会を避けています。
- ・趣味に関する活動に変化なし
- ・趣味の活動自体減り、室内や少人数で出来るものが増えた。
- ・趣味の活動の回数が減ったのが残念
- ・趣味の活動への参加が減った。（不特定多数の人との接触を避けるため）
- ・趣味の読書の時間が増えました
- ・趣味は家の中でしか行えないものから、家の中でもできることが中心になってきました。コロナでも家の中にいるとリラックスできないものと思っていましたが、そうでもなく最近家はいることがとにかく増えました。
- ・趣味は全く行うことがなくなりました。

・生涯学習＝趣味の活動？学習が趣味の人を対象にアンケートを取った方が良いのでは？この1年間で美術館や博物館にはそれなりに行きましたが、趣味の活動とは関係ないようですね。

・情報量を多く利用することになった

・職業柄、クラスターになり得る環境（場）は、すべて控えてきました。今後は新型コロナウイルス感染症について、未だわからない（わかっていない）部分がありますが、いつまでこの状況が続くかわからないので、濃厚接触にならないための対策を講じ、少しずつ活動の幅を広げていきたいと考えています。

・新型コロナウイルス禍で外出を控えたので、趣味の活動はしませんでした。

・新型コロナウイルスが発生してからは少ない趣味の中なのに、人とかかわる趣味は更に減った。人と関わってはいけない時期だと思っているので。

・新型コロナウイルスの影響により、イベント自体が減ってしまった。

・接触の多い動作ができない

・早朝にはじめ早朝（人が少ない時間）に終わるように心がけている（マラソン）

・外に出ることがなくなり自宅で活動できるものを行うということばかりになった。

・地域の祭り、行事が全て中止となり、地域活動ができなくなった。

・出かける機会が減りました。

・動画で学ぶ機会が増えた

・なかなか活用する機会がありません

・仲間と5人以上で集まって雑談する機会が無くなった。心配なのは認知症気味の仲間が出てきたことです。これは巣ごもりの結果と思われます。

・人がたくさん集まる講習会などへの参加をひかえ（やめ）、アウトドア活動をしている。

・人と接することが極端に少なくなった。夫婦でしか行動していない。

・人を集めることができなくなり、日程の調整等難しくなった気がします。

・ほとんどの活動がコロナで中止でしたが、感染予防をしつつ、少しずつこれまでの活動を再開したいと考えています。

・ボランティア活動（市観光ガイドの小学生スポーツクラブコーチ）など昨年より活動の休止、延期～全休止と続いており、やっと少しずつ解禁され動き出したが、自分の体調が前より落ちたのが気がかりです。

・マスク、手の消毒の徹底が周知された。教室の机等使用前にアルコール噴霧が強制された。窓の開ける時間も多くなった。席の間隔を広げ座るようになった。

・やりにくくなった。活動しにくい。

・料理教室に公民館利用させていただきましたが、コロナウイルス予防の為、2年近く参加しておりません。